

平成 28 年 8 月 25 日
東京電力 HD (株)

液状化評価の基本的考え方について

- 耐震設計・耐津波設計基本方針における液状化の構造物への影響評価の見通しを示すにあたり，液状化評価および液状化パラメータ設定については，道路橋示方書などに対して保守的な評価を行う。
- さらに，非液状化であると考えられる土層についても，念のため試験結果に基づくパラメータを設定し，評価の成立性を確認する。
- パラメータの設定にあたっては，液状化試験結果を基本として，基本物性のバラツキを考慮した保守性を取り込むこととする。

このように保守的な評価に基づいて見通しをお示しすることで，今後，追加調査・評価によって，パラメータ設定などが変更となる可能性はあるが，成立性が覆ることはないと考えられる。

以上